

# 川越町 子育て世代 アンケート調査

## 【調査結果】

### 1. 調査概要

#### (1) 調査の目的

子育て世代の方々の目線で、川越町の住みやすさ、子育ての魅力、必要な子育て支援などを把握し、住みたい、住み続けたい川越町にするための施策を検討することを目的に、アンケート調査を実施しました。

#### (2) 調査の対象

2024年9月20日（金曜日）にボランティア活動拠点施設「ささえあい」で開催されたハピ★ママ主催の Happy Share Party」に参加者している子育て世代の方々を対象に行いました。

#### (3) アンケート回収者数

「Happy Share Party」の参加者40名に回答していただきました。なお、回答者のうち、川越町民は17名となっています。

#### (4) グラフの見方

各設問の回答者数はnとして掲載し、各グラフの構成比（%）はnを母数とした割合を示しています。

グラフ中の構成比（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、合計は必ずしも100.0%にはなりません。

また、設問の選択肢は、一部省略してある場合があります。

## 2. 調査結果

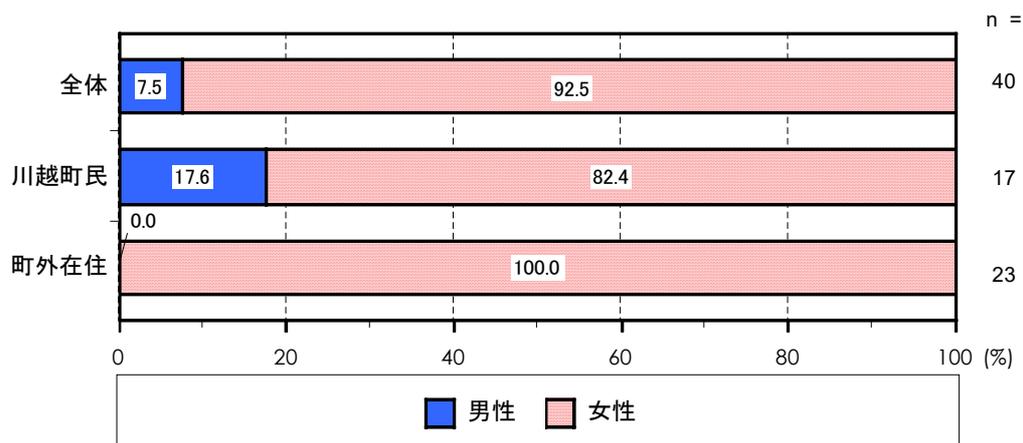
### (1) 回答者の属性

#### ①性別（問1）

回答者は女性が92.5%を占めています。

#### 《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、女性が82.4%を占めています。

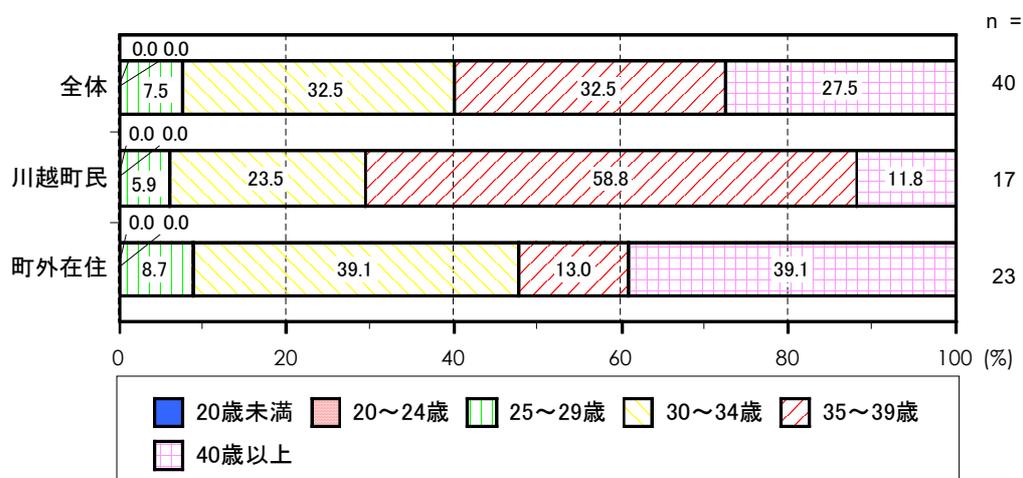


#### ②年齢（問2）

回答者の年齢は「30～34歳」と「35～39歳」がそれぞれ32.5%で最も割合が高く、次いで「40歳以上」が27.5%となっています。

#### 《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「35～39歳」が58.8%で最も割合が高く、次いで「30～34歳」が23.5%、「40歳以上」が11.8%となっています。

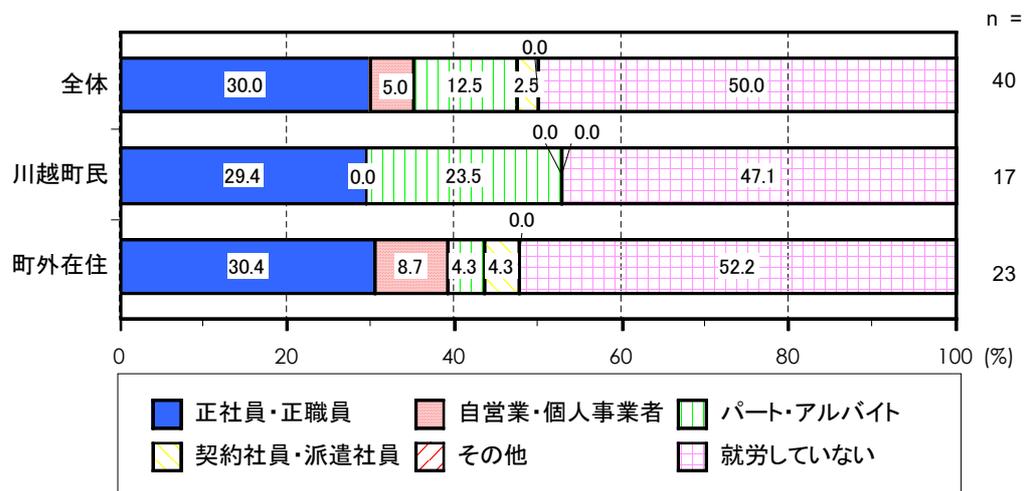


### ③職業（問3）

回答者の職業は、「就労していない」が50.0%と半数あり、次いで「正社員・正職員」が30.0%、「パート・アルバイト」が12.5%と続いています。

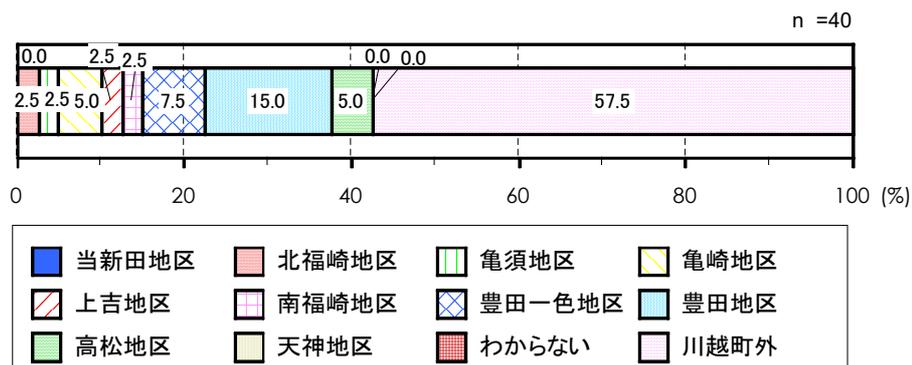
#### 《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「就労していない」が47.1%で最も割合が高く、次いで「正社員・正職員」が29.4%、「パート・アルバイト」が23.5%となっています。



### ④住まいの地区（問4）

回答者の住まいの地区は、「川越町外」が57.5%（23名）ですが、町内では「豊田地区」が15.0%で最も割合が高く、次いで「豊田一色地区」が7.5%、「亀崎地区」と「高松地区」が5.0%と続いています。なお、川越町民は42.5%（17名）となっています。

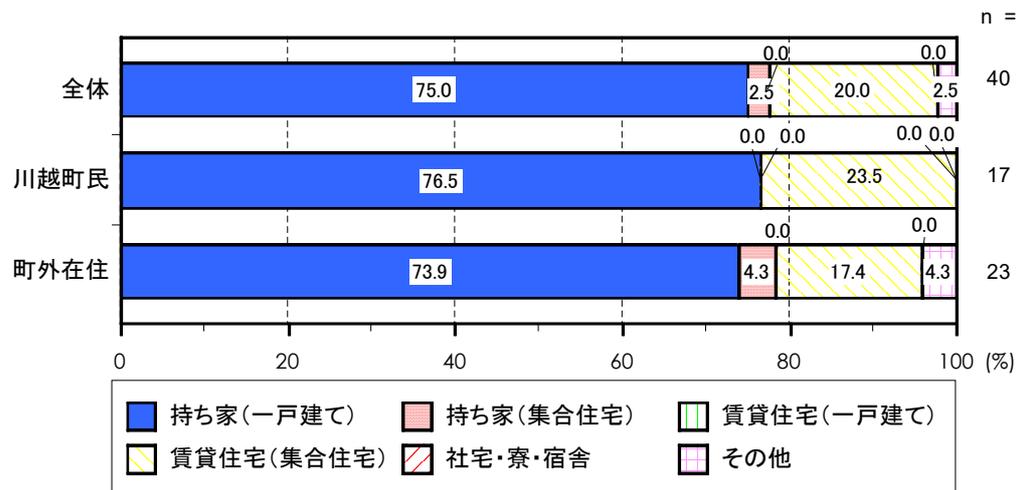


⑤住宅（問5）

回答者の住宅は、「持ち家（一戸建て）」が75.0%で最も割合が高く、次いで「賃貸住宅（集合住宅）」20.0%と続いています。

《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「持ち家（一戸建て）」が76.5%で最も割合が高く、次いで「賃貸住宅（集合住宅）」23.5%と続いています。

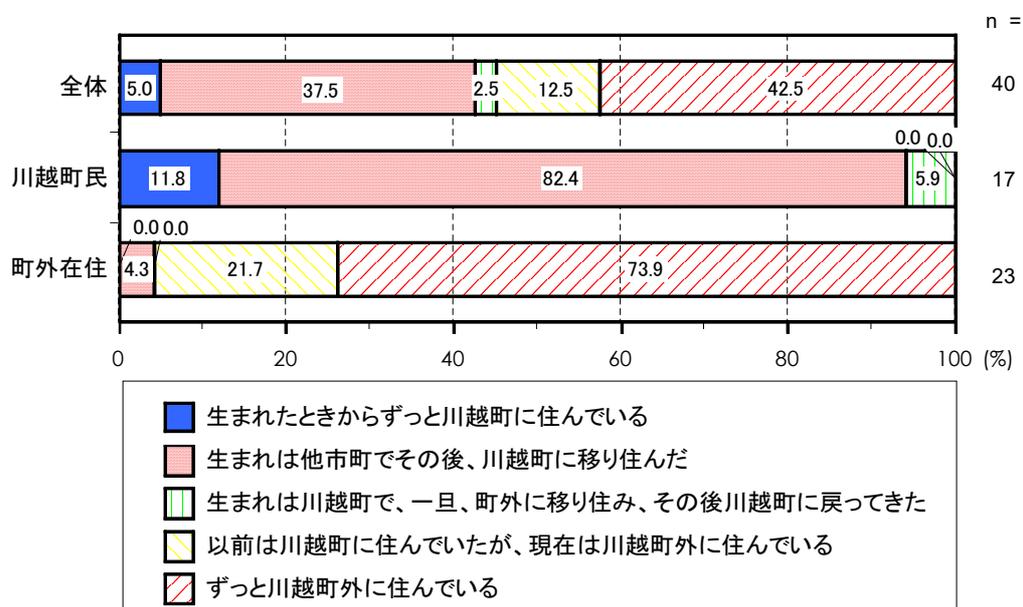


## ⑥川越町の居住歴（問6）

回答者の居住歴は、川越町外の回答者が多いこともあり、「ずっと川越町外に住んでいる」が42.5%となっています。次いで「生まれは他市町でその後、川越町に移り住んだ」が37.5%、「以前は川越町に住んでいたが、現在は川越町外に住んでいる」が12.5%、「生まれたときからずっと川越町に住んでいる」が5.0%、「生まれは川越町で、一旦、町外に移り住み、その後川越町に戻ってきた」が2.5%となっています。

### 《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「生まれは他市町でその後、川越町に移り住んだ」が82.4%で最も割合が高くなっています。次いで「生まれたときからずっと川越町に住んでいる」が11.8%、「生まれは川越町で、一旦、町外に移り住み、その後川越町に戻ってきた」が5.9%となっています。



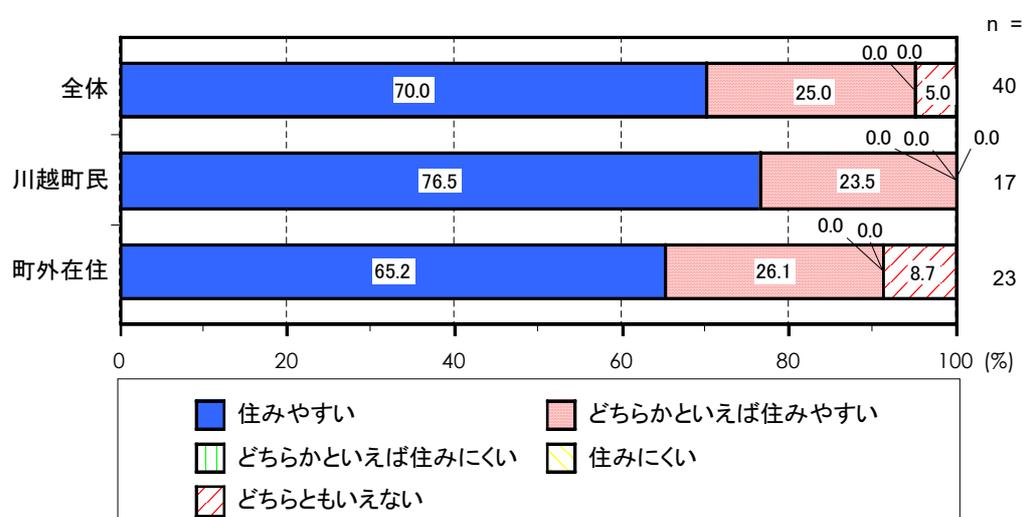
## (2) 川越町の住みよさ

問7 川越町は住みやすいまちだと思いますか。

「住みやすい」が70.0%、「どちらかといえば住みやすい」が25.0%で、あわせて95.0%の回答者が住みやすいまちだと思っています。なお、町外在住の回答者については、町外から見た川越町の印象となります。

### 《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「住みやすい」が76.5%、「どちらかといえば住みやすい」が23.5%で、あわせて100%と、全員が住みやすいと感じています。



### 【参考】

住民意識調査の結果では、「住みやすい」が50.2%、「どちらかといえば住みやすい」が39.2%で、あわせて約9割となっています。

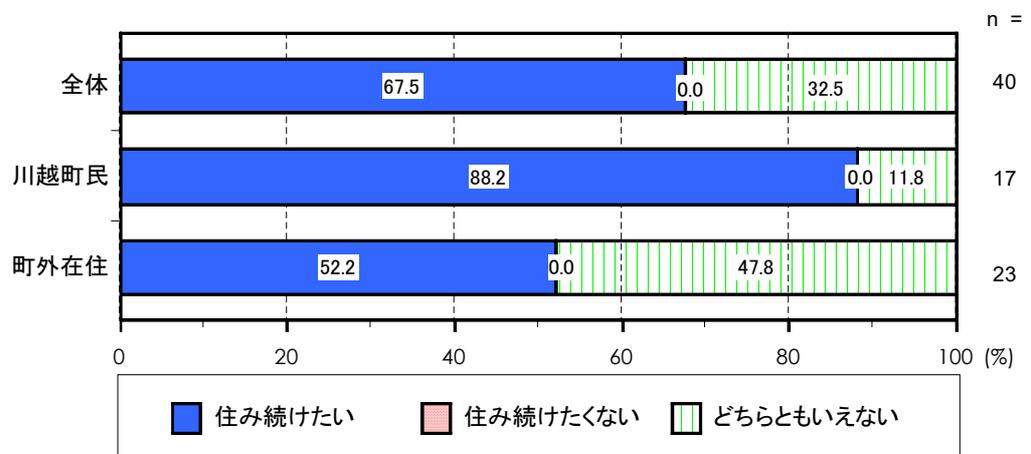
### (3) 川越町への定住意向

問8 川越町に住み続けたい(町外の方は川越町に住みたい)と思いますか。

「住み続けたい(住みたい)」が67.5%、「住み続けたくない(住みたくない)」が0.0%、「どちらかもしえない」が32.5%と、住み続けたいと思う回答者が7割近くを占めています。

#### 《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「住み続けたい」が88.2%、「住み続けたくない」が0.0%、「どちらかもしえない」が11.8%と、住み続けたいと思う町民が9割近くを占めています。



#### 【参考】

住民意識調査の結果では、「永住したい」が42.4%、「当分住み続けたい」が46.4%で、あわせて約9割となっています。

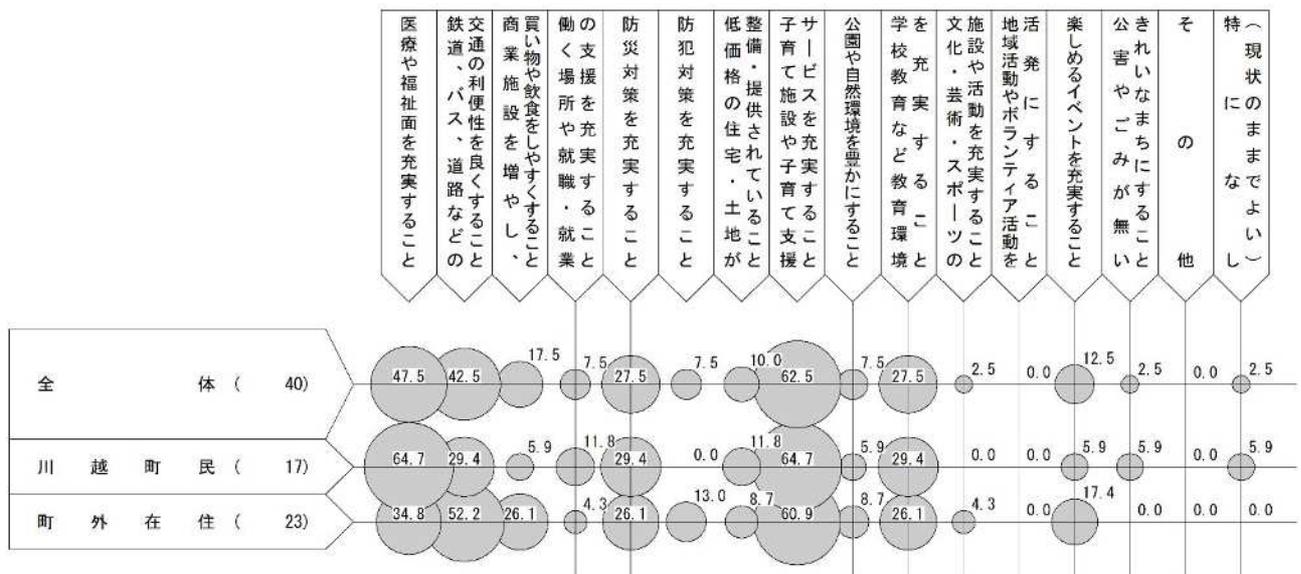
問9 「ず〜〜〜っと暮らしたい町」となるためには、行政等がどのようなことにかを入れるべきだと思いますか。

「ず〜〜〜っと暮らしたい町」となるために行政が力を入れるべきこととしては、「子育て施設や子育て支援サービスを充実すること」が62.5%で最も割合が高くなっています。次いで「医療や福祉面を充実すること」が47.5%、「鉄道、バス、道路などの交通の利便性を良くすること」が42.5%、「防災対策を充実すること」と「学校教育など教育環境を充実すること」がそれぞれ27.5%と続いています。

《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「医療や福祉面を充実すること」と「子育て施設や子育て支援サービスを充実すること」がそれぞれ64.7%で最も割合が高くなっています。次いで「鉄道、バス、道路などの交通の利便性を良くすること」、「防災対策を充実すること」、「学校教育など教育環境を充実すること」がそれぞれ29.4%と続いています。

行政が力を入れることとして、医療や子育て支援、交通、防災、教育環境のニーズが高くなっています。



【参考】

住民意識調査の結果では、「医療や福祉面を充実すること」が52.9%、「防災対策を充実すること」が47.5%、「鉄道、バス、道路などの交通の利便性を良くすること」が35.1%、「子育て施設や子育て支援サービスを充実すること」が29.3%などの順となっています。

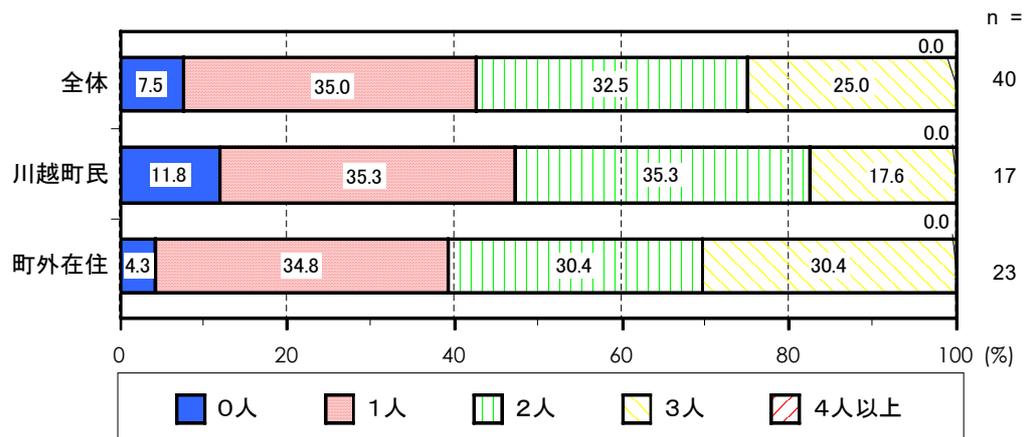
(4) 子どもの人数

問 10 「現在」の子ども的人数は何人ですか。

現在の子ども的人数は「1人」が35.0%で最も割合が高く、次いで「2人」が32.5%、「3人」が25.0%、「0人」が7.5%となっています。

《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「1人」と「2人」がそれぞれ35.3%で最も割合が高く、次いで「3人」が17.6%、「0人」が11.8%となっています。

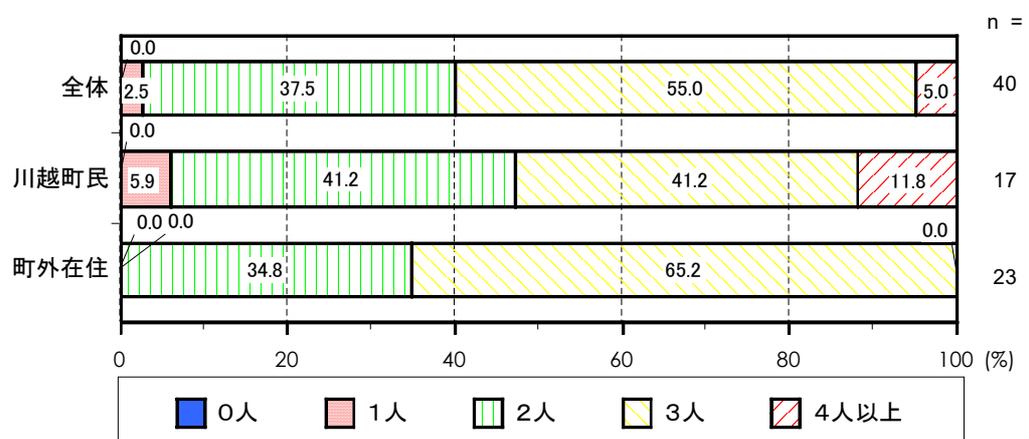


問 11 「理想」の子ども的人数は何人ですか。

理想の子ども的人数は「3人」が55.0%で最も割合が高く、次いで「2人」が37.5%、「4人以上」が5.0%、「1人」が2.5%となっています。

《川越町民のみの集計結果》

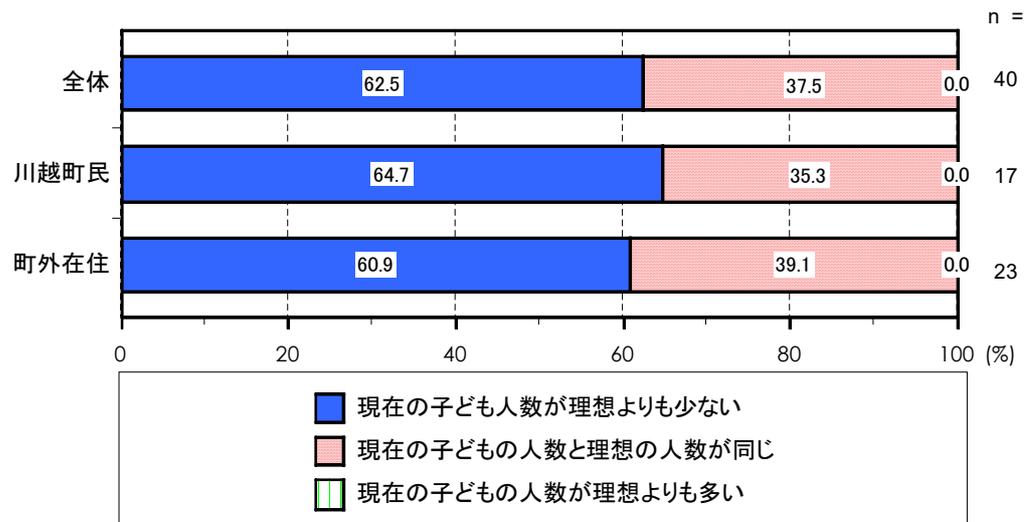
川越町民の回答者17名でみると、「2人」と「3人」がそれぞれ41.2%で最も割合が高く、次いで「4人以上」が11.8%、「1人」が5.9%となっています。



なお、現在の子どもの人数と理想の子どもの人数の差について、「現在の子どもの人数が理想よりも少ない」が62.5%、「現在の子どもの人数と理想の人数が同じ」が37.5%、「現在の子どもの人数が理想よりも多い」が0.0%となっており、現在の子どもの人数よりも理想では増やしたいと考えている人が6割を超えています。

《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「現在の子どもの人数が理想よりも少ない」が64.7%、「現在の子どもの人数と理想の人数が同じ」が35.3%となっています。

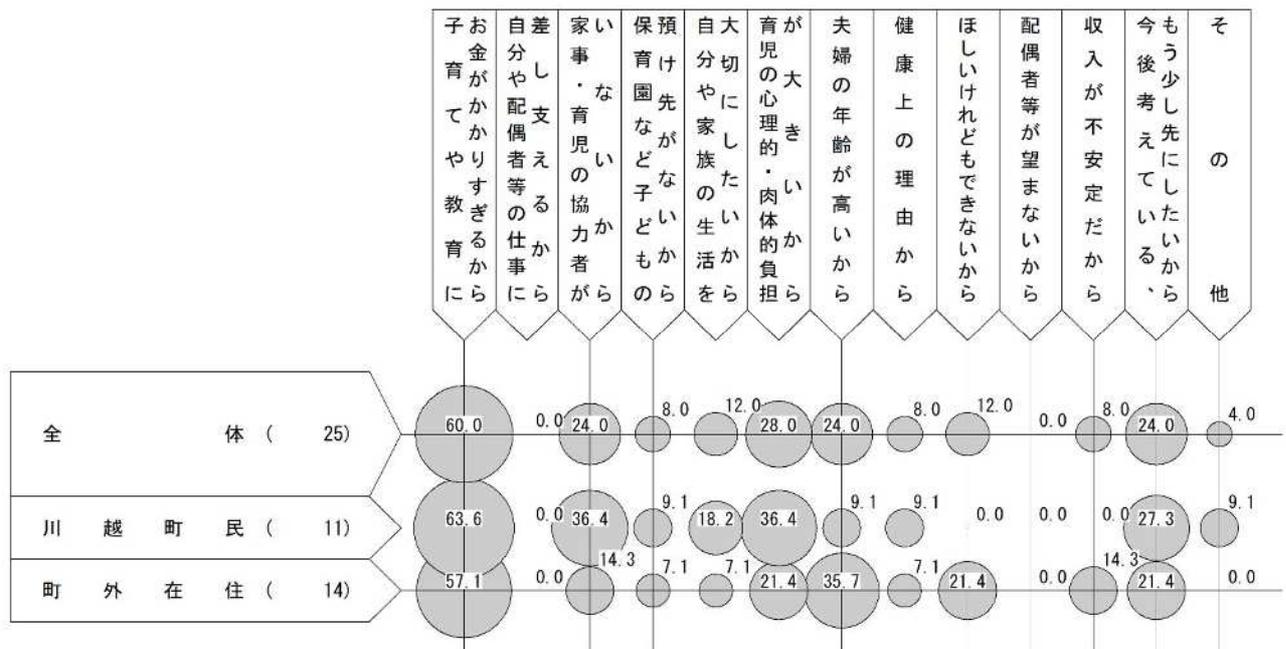


問 12 現在の子どもの数が、理想とする数より少ないのは、どのような理由からですか。

問 10 と問 11 の差で現在の子どもの人数が理想よりも少ないと回答した 25 名の理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 60.0%で最も割合が高くなっています。次いで「育児の心理的・肉体的負担が大きいから」が 28.0%、「家事・育児の協力者がいないから」と「夫婦の年齢が高いから」、「今後考えている、もう少し先にしたいから」がそれぞれ 24.0%と続いています。

《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者 11 名でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 63.6%で最も割合が高く、次いで「家事・育児の協力者がいないから」と「育児の心理的・肉体的負担が大きいから」がそれぞれ 36.4%、「今後考えている、もう少し先にしたいから」が 27.3%と続いており、経済的な不安や、育児の負担などが理由としては多くなっています。



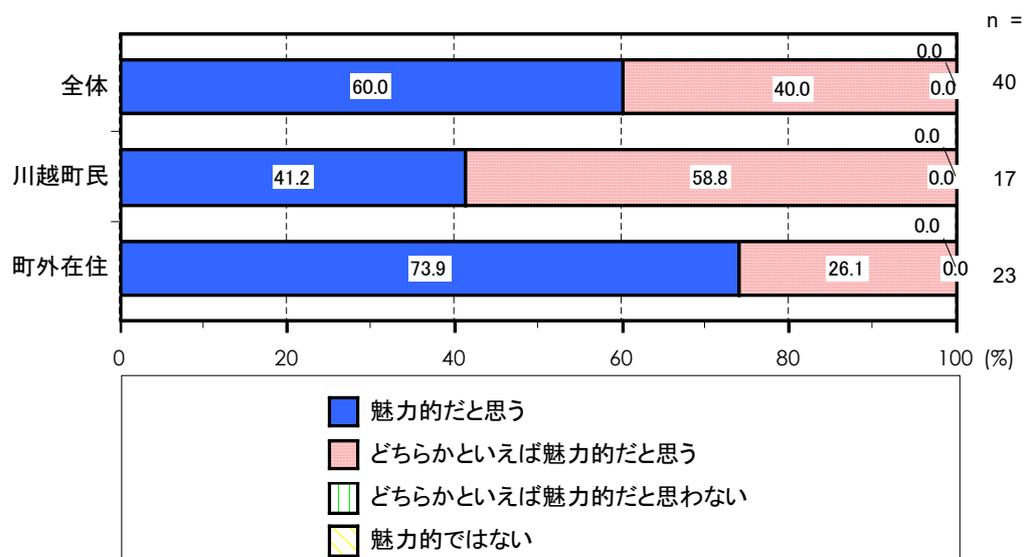
## (5) 川越町の子育ての魅力

問 13 あなたにとって、川越町は子育てする場所として魅力的だと思いますか。

「魅力的だと思う」が 60.0%、「どちらかといえば魅力的だと思う」が 40.0%と、全員が川越町は子育てする場所として魅力的と思っています。

### 《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者 17 名でみると、「魅力的だと思う」が 41.2%、「どちらかといえば魅力的だと思う」が 58.8%となっています。



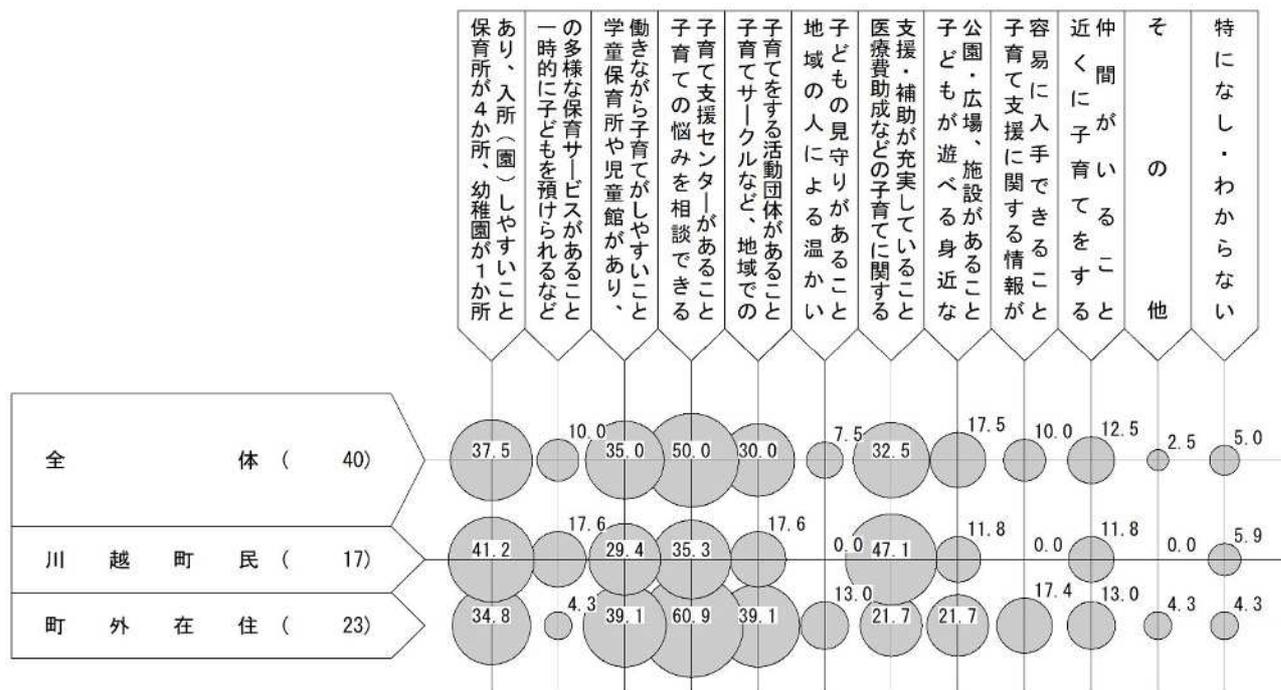
問 14 川越町の子育て環境が魅力的な理由は何だと思えますか。

問 13 で、川越町が子育てする場所として魅力的だと思っていると回答した 40 名（全員）の子育て環境の魅力については、「子育ての悩みを相談できる子育て支援センターがあること」が 50.0%で最も割合が高くなっています。次いで「保育所が 4 か所、幼稚園が 1 か所あり、入所（園）しやすいこと」が 37.5%、「学童保育所や児童館があり、働きながら子育てがしやすいこと」が 35.0%、「子どもの医療費助成などの子育てに関する支援・補助が充実していること」が 32.5%、「子育てサークルなど、地域での子育てをする活動団体があること」が 30.0%と続いています。

《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者 17 名でみると、「子どもの医療費助成などの子育てに関する支援・補助が充実していること」が 47.1%で最も割合が高くなっています。次いで「保育所が 4 か所、幼稚園が 1 か所あり、入所（園）しやすいこと」が 41.2%、「子育ての悩みを相談できる子育て支援センターがあること」が 35.3%、「学童保育所や児童館があり、働きながら子育てがしやすいこと」が 29.4%と続いています。

子育てに関する助成、環境、相談体制などが充実していることが魅力となっています。



(6) 今後、力を入れるべき子育て施策

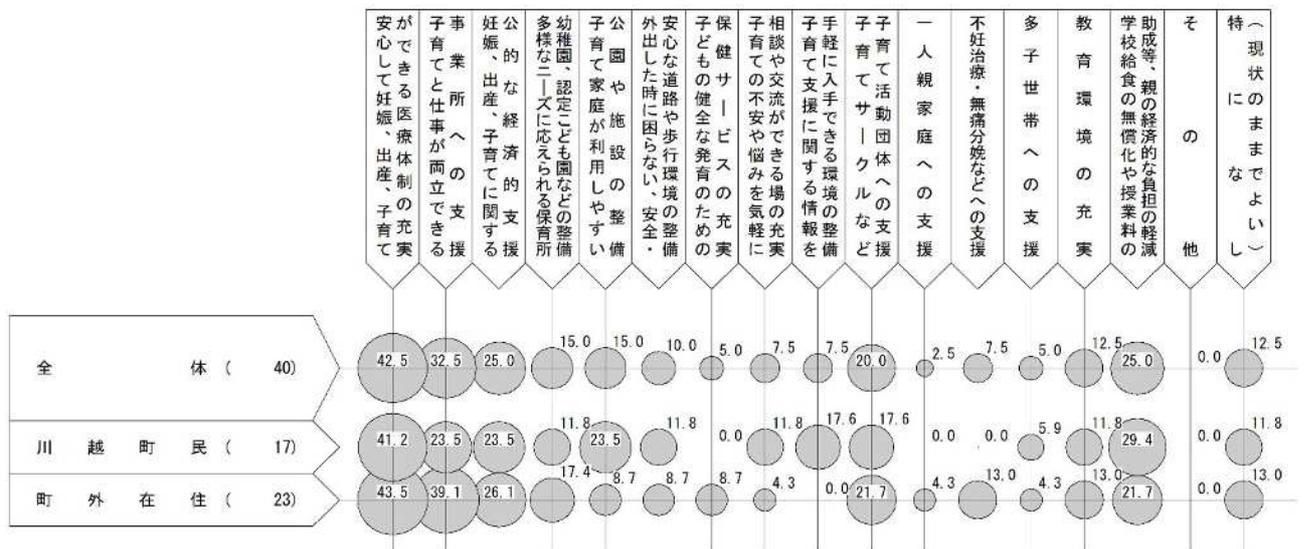
問 15 川越町の子ども・子育て施策に対して、どのようなことにもっと力を入れるべきだと思いますか。

子ども・子育て施策として力を入れるべきことについては、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制（病児保育など）の充実」が42.5%で最も割合が高くなっています。次いで、「子育てと仕事が両立できる事業所への支援」が32.5%、「妊娠、出産、子育てに関する公的な経済的支援」と「学校給食の無償化や授業料の助成など、親の経済的な負担の軽減」がそれぞれ25.0%、「子育てサークルなど子育て活動団体への支援」が20.0%と続いています。

《川越町民のみの集計結果》

川越町民の回答者17名でみると、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制（病児保育など）の充実」が41.2%で最も割合が高く、次いで「学校給食の無償化や授業料の助成など、親の経済的な負担の軽減」が29.4%、「子育てと仕事が両立できる事業所への支援」と「妊娠、出産、子育てに関する公的な経済的支援」、「子育て家庭が利用しやすい公園や施設の整備」がそれぞれ23.5%と続いています。

医療体制を充実すること、経済的な負担を軽減すること、子育てを支える事業所や団体などを支援すること、公園などを整備することなどに力を入れるべきだと考えています。



【参考】

住民意識調査の結果では、「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制（病児保育など）の充実」が46.8%、「妊娠、出産、子育てに関する公的な経済的支援」が35.7%、「子育てと仕事が両立できる事業所への支援」が34.7%、「多様なニーズに応えられる保育所、幼稚園、認定こども園などの整備」が30.7%などの順となっています。

(7) その他

問 16 その他、川越町をもっと、子育てしやすいまちにしていくための取組アイデアがありましたら、自由にお書き下さい。

10名から子育てしやすいまちに向けた取組アイデアなど寄せられています。

性別	年齢	住まい	問 16 その他
男性	35～39歳	豊田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●0～3歳までの保育料も無償化してほしい。</li> <li>●出産にかかる費用も無償化になるとうれしい。</li> <li>●中学校の制服のお譲り会的なものがあれば良い。有料でも良いのでそういったものがあると嬉しい。</li> </ul>
女性	35～39歳	北福崎地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てのことを気軽に相談できる場所。</li> </ul>
女性	35～39歳	川越町外	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海に近いので防災が心配。</li> <li>●でもイベントが多く、施設がきれいで良い。</li> </ul>
女性	35～39歳	亀須地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も楽しいイベントをたくさん企画してください。</li> </ul>
男性	30～34歳	豊田一色地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川越町のバスが子育てしている人や子どもにやさしくないのでサービスを向上する(嘔吐している子を見た)。バスの運転が荒い。</li> <li>●街灯、歩道が少ない。</li> <li>●猛暑期にも子どもが安心して遊べる室内施設があると良い。</li> <li>●屋外プールの充実。</li> <li>●学校給食の無料化。</li> </ul>
女性	30～34歳	豊田一色地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食の無償化希望。</li> <li>●幼稚園の預かり時間を長くしてほしい。</li> </ul>
女性	35～39歳	高松地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今、保育園に預けていますが、町立は投薬ができないと言われていて。お昼の投薬は親などが行って与えられているので改善してほしい。ひばりは投薬届で対応してもらっています。</li> <li>●小学生の登校時、車がいても端に寄ることなく歩くので徐行で通る時もすごく怖さを感じます。</li> </ul>
女性	35～39歳	豊田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中学生の放課後の居場所(気軽に友達同士立ち寄れて、宿題、遊び、おやつが食べれるような場所)をつくらしてほしい。</li> <li>●未就学対象は子育て支援センター等あるが、小学生以上の子どものための場所がない。</li> <li>●児童館はあるが、館内での制限(自由度)が近隣地区に比べるとあり、子どもが行きたい場所になっていない。</li> </ul>
女性	40歳以上	高松地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無償バスはベビーカーが乗れますか？</li> </ul>
女性	35～39歳	川越町外	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社協が今、取り組んでいるハピママのような集い、イベントがあると孤独な育児から解放されて母の気持ちが楽になると思います。</li> </ul>